



法政大学
経済学部

同窓会報



第92号 2024年(令和6年)9月1日
法政大学経済学部同窓会(略称 法政経友会)

発行人: 村田紀敏(同窓会会長) / 編集人: 執行部編集委員会
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学経済学部研究棟4階420号室
電話・FAX 042-783-2550 <http://www.hoseikeiyukai.jp/>
郵便振替口座001706-602070 三菱UFJ銀行橋本支店普通口座0166670
*事務局の開室日時は、火曜日と金曜日の9:30~15:30です

本会は、会員相互の親睦をはかり、経済学部および母校の発展ならびに社会・文教の進歩に寄与することを目的とする。(同窓会会則第3条)



定期幹事総会で参加者を前に報告する高森事務局長

定期幹事総会を開催、議案はすべて承認される オレンジの集いは昨年引き続き着座形式での開催

2024年度、法政大学経済学部同窓会定期幹事総会・経済学部オレンジの集いが、6月1日(土)の午前10時30分から、四ツ谷駅前の主婦会館プラザエフで行われました。

まずは8階「スイセン」にて、約40名が出席し、定期幹事総会が行われました。最初に、この1年間に亡くなった物故者53名への黙祷が行われ、続いて、村田紀敏会長挨拶があり、その後、議長、副議長の選出が行われ、議事へと移りました。

■第1号議案 2023年度事業報告、決算報告承認、監査報告の件

第1号議案については、高森正雄事務局長より、主に次のような報告がありました。

1・基本活動方針に基づく活動について

新型コロナウイルスの収束に伴い、従来からの同窓会活動を再開・活性化させた。定例会合は対面で行うとともに、会合後の懇親会についても徐々に復活させたほか、各種イベントについても計画どおり進め、数年ぶりに小旅行も実施した。

同窓会活動へのSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)の導入が具体化したことから、若手常任幹事を中心に同窓会に関する情報発信を行った。

新規会員の積極的勧誘の実施及び全国の会員への情報発信の拡大については、SNSでの同窓会の情報発信を積極的に行いつつ、卒業、入学時には入会キャンペーンを実施するなど、新規会員の増加に向けた努力を行った。しかし、大きな成果は得

られていない。また、若い世代の会員を中心に、SNSを通じた同窓会の情報発信・情報交換を実施した。

学生を対象としたOB/OGとの対話の実施については、東京証券取引所見学会を実施し、見学後に食事を開催するなど、在学生との交流を図った。

2・経常的な活動について

新型コロナウイルスの流行が収束に向かったことから、2023年度定期幹事総会や代表・常任合同幹事会をすべて対面で行ったほか、新年には七福神めぐりを実施し、また、桜を観る会に替えての長野県上田市・長野市への小旅行を企画するなど、活動の平常化を図った。

■第2号議案 2024年度活動方針・事業計画、予算案承認の件

第2号議案についても、高森正雄事務局長より、主に次のような報告がありました。

1・基本活動方針について

定例会合は通常どおり開催するとともに、各種イベントについては、計画どおり進めることとし、週末のイベントに関しては、若手会員にも参加を呼びかけることとする。

同窓会活動に関し、SNSを通じて広く配信しつつ、卒業生への同

窓会に対する関心を高める努力を続ける。加えて、若手会員との親睦を図るため、同窓会の各種イベントへの参加を積極的に呼びかける。

さらに中期検討課題として、先に大学から公表された、2030年を目標とした経済学部の多摩から市ヶ谷への移転計画も考慮しつつ、将来の同窓会の在り方について議論を開始する。

上の基本方針に基づき、2024年度については以下の内容の実現に向けて努力を傾注する。

① SNSを活用した新規会員の積極的勧誘の実施、及び全国の会員への情報発信の拡大

SNSを通じた同窓会の情報発信を継続するとともに、卒業、入学時に入会キャンペーンを実施し、新規会員の増加を目指す。また、若い世代の会員を中心に、メールアドレスを登録している全国の会員に対し、SNSやメールにより同窓会の情報発信などで交流を深める。

上記施策を推進しつつ同窓会の将来の人材確保にも努める。

② 学生のニーズに応じた対話やイベントの実施

同窓会会員の社会や企業とのつながりを利用して、学生対象の企業見学を計画する。また、学生会との情報交換

を密にし、同窓会に対する学生のニーズの把握に努める。

③ 同窓会運営等に関する現状と課題の洗い出し

事務局長が中心となり直面する問題点・課題を洗い出し、常任幹事や顧問を交えて率直な議論を行う。

2・経常的な活動の実施について以下の経常的な活動を実施する。

- ・「経済学部オレンジの集い」の開催
- ・教授会との「卒業祝賀会」の共催
- ・同窓会報の発行、ホームページ・QRコードの運営
- ・エンジョイ経友会活動の継続（新年七福神めぐり、桜を観る会等）
- ・希望者を募っての食事会等の実施
- ・学生支援活動の継続。「デイベート大会」「プレゼンテーション大会」「インターシッピング」の支援・協力
- ・教授会執行部との定期懇談会の開催
- ・校友会及び他学部同窓会との連携



オレンジの集いで司会を務めた学生会代表の岩間乃々花さん



杉本龍勇先生による「社会経済がスポーツ実施に与える影響」と題した講演



10の円卓に分かれての着座式の懇親会



最後は全員がスクラムを組んでの校歌斉唱

すべての報告、提案が行われた後、採決に入った結果、第1号議案、第2号議案ともに承認されました。

その後、高森事務局長より、「同窓会が当面する問題と今後の課題」についての報告があり、この内容は4ページに記載します。

* * *

定期幹事総会に続き、11時30分からは、会場を9階の「スズラン」に移し、経済学部教授会との共催で「経済学部オレンジの集い」が行われました。

今回も高齢の参加者が多いことに配慮し、着座形式での開催となりました。

司会は学生会代表の岩間乃々花さんが務め、村田紀敏会長のあいさつの後、法政大学校友会副会長の石渡洋行氏、理系同窓会会長村

主康和氏から来賓あいさつがありました。

続いて、法政大学経済学部教授の杉本龍勇先生から、「社会経済がスポーツ実施に与える影響」という演題での講演がありました。杉本先生は、ドイツでの研究から戻ったばかりで、ドイツでの生活事情に加え、最近の若者の著しい体力の衰えや、それを回避するために、より一層スポーツが求められていることなど、興味深いお話をしてくださいました。

その後、埼玉県校友会会長の大井巳喜彦氏の音頭で乾杯となり、各テーブルでは久々の再会に、会話に花が咲きました。

最後は、肩を組んでの校歌斉唱、そして花澤良三幹事長のお礼のあいさつでお開きとなりました。

2023年度決算及び2024年度予算

(単位千円)

	23年度 予算	23年度 決算	差異	24年度 予算
年会費収入	1,510	1,404	△ 106	1,360
終身会費収入	405	462	57	410
寄付金収入（一般活動支援）	300	374	74	360
名刺広告収入	800	860	60	860
HPバナー広告収入	120	120	0	120
校友会費納入還付金	30	54	24	54
校友会活動補助金	0	0	0	
雑収入	50	84	34	40
収入計	3,215	3,357	142	3,204
人件費	1,500	1,434	△ 66	1,562
事務用消耗品費	30	64	34	30
事務用備品費	20	18	△ 2	18
事務用印刷費	80	211	131	120
通信運搬費	150	172	22	190
会報発行費	830	726	△ 104	726
会報発送費	290	294	4	323
賃借費	60	59	△ 1	60
渉外費	100	217	117	53
雑費	130	112	△ 18	100
支出計	3,190	3,307	117	3,182

[前年度よりの繰越金]		2,179		
収入－支出		50		
終身会費次年度繰越金		1,847		
次年度以降会費収入		37		
[次年度への繰越金]		4,114		

(学生支援積立金)		(支出内訳)	
前年度繰越金	2,421	各種大会賞金	110
収入（寄付）	85	卒業生記念品等	250
支出（内訳右欄）	595	メルマガ運用費用	120
次年度繰越金	1,911	学生懇親会費他	115

*数字は千円未満を四捨五入した概算ですので、合計額と合わない場合があります

定期幹事総会で23年度決算・24年度予算を承認
特に学生支援金へのより積極的な寄付が求められる

23年度決算

収入は予算比プラス約14万円とな

りました。年会費収入が予算比マイナスとなった反面、終身会費残高か

らの繰入、寄付金収入及び名刺広告収入が予算を上回ったことによります。校友会費納入還付金、雑収入もプラスに寄与しました。

支出は予算比プラス約12万円となりました。人件費、会報発行費がマ

イナスの一方、事務用消耗品、事務用印刷費、渉外費が予算を上回りましたが、これらは、次年度に必要な品目の前倒購入によるものです。以上の結果、一般会計と会費積立両者を合計した繰越金は、前年度末に比べ約18万円増加しました。

一方、学生支援金は、コロナ後5年ぶりの開催となった卒業祝賀会への支援金が25万円発生し、繰越金は約19.1万円に減少しました。

24年度予算

収入は、実績比約15万円減を想定します。年会費、終身会費の減少を見込まざるを得ないためです。

支出は、実績比約13万円減を目指します。人件費は、大学の給与改定の連動により増額となりますが、事務用消耗品費等は、前年度の余剰金を購入に引当てたことで、大幅減となっております。10月の郵便料金引上げは、発送費に確実に影響します。会報を除き、郵送という手段を極力減らしたいと考えております。

学生支援金は寄付金で成り立っており、支出は50万円程度を見込むため、寄付金なしでは支援金は3〜4年で枯渇する計算になり、引き続き支援金への寄付をお願いします。

（事務局長 高森 正雄）

同窓会が直面する問題と今後の課題を定期幹事総会において報告

6月1日に行われた定期幹事総会では、議事後に高森事務局長から、「同窓会が当面する問題と今後の課題」と題する報告がありました。

概要は次のとおりとなります。

1・当面する問題とこれまでの対応

①総収入の減少（200万円強）
要因としては次のとおり。

- ・ 会員の減少に伴う会費収入の減少
- ・ 会報への名刺広告掲載者の減少による広告収入の減少
- ・ 寄付金収入は増加

この課題に対しては、これまで次のような対応を行った。

- ・ 会費未納の会員に対する納入依頼（9月以降2回）
- ↓効果認められた。
- ・ 終身会費の積立・定率繰入による収入の平準化（2018年度より）
- ↓効果が認められた。

- ・ 新卒、新入生に対する入会の呼びかけ（チラシの配布、SNS）
- ↓目立った効果なし。
- ・ 寄付の呼びかけ
- ↓効果が認められた。

②支出の削減（200万円強）
要因としては次のとおり。

- ・ 人件費の抑制
 - ・ 会報発行費の抑制
 - ・ その他、固定費の見直し・削減
- 具体的内容は次のとおり。

- ・ 事務局の開室日（事務職員の就業日）を週3回から2回に。開室時間を1時間短縮
- ↓削減効果は80万円。
- ・ 経理・会員管理システムの廃止
- ・ 経理・会員管理業務の合理化
- ↓削減効果は10万円。
- ・ 複合コピー機のリース期間満了後の買取り
- ↓削減効果は20万円。
- ・ 会報の抜本の見直し
- ↓削減効果は80万円。
- ・ 封筒（紙）からOPP（ビニール袋）への移行
- ↓削減効果は20万円。

- ・ 文字を小さくし行を詰めることによる紙代・印刷費の削減
- ↓削減効果は5万円。

2・同窓会運営に携わる常任幹事の高齢化と後継人材の不足

①役員はほぼ連続して再任される状態で、今回は全員が再任。平均年齢70代半ばに達している

②現役を退いた60代後半～70代前半の人材の不足。

これに関する今までの対応。

- ・ 若い世代の常任幹事に配慮し、幹事会の日程を平日の夕方から土曜日の日中に変更。
- ・ 引退を申し出る常任幹事・役職者の引き留め。

3・今後の課題

①財政問題への対策については、会員増加を図ること以外、とくに奇

抜な方法はない。

②会員の拡大については、校友会の学部同窓会に対する方針変更が、大きく影響してくると予想される。

③常任幹事の募集。

④会議等の在り方の検討し、リモート参加の仕組みを作る。

⑤同窓会運営の抜本の見直し（2030年の経済学部市ヶ谷移転も視野に入れて）。

以上、同窓会存続にかかわる問題も多く、全同窓会員が知恵を出し合っただけの対応が必要とされていることを、再確認できる報告でした。

2024年忘年の集いのお知らせ

日時：2024年12月7日（土）12時30分～

開催場所：新橋「新橋亭」（中華料理）

参加会費：7,000円を予定

*本年は露見ゼミ同窓会と連携して行います。詳しい内容は最後のページの「事務局からのお知らせ」をご覧ください。

浅草名所七福神めぐりのお誘い

世界中からの観光客でにぎわう浅草や路地裏の浅草をめぐり、たっぷり福を満喫

日時：2025年1月11日（土曜）10時～

集合場所：田原町駅

（東京メトロ銀座線 1番出口外に出る）

- ①矢先稲荷神社（福祿寿） ②鷲神社（寿老人） ③吉原神社（弁財天） ④橋場不動尊（布袋尊） ⑤石浜神社（寿老神） ⑥今戸神社（福祿寿） ⑦待乳山聖天（毘沙門天） ⑧浅草神社（恵比須） ⑨浅草寺（大黒天）

行程8km 2時間45分

食事：葵丸進

第15学生ディベート大会の決勝戦が開催され
難しいテーマでの白熱した議論が繰り広げられる

6月22日(土)の13時から、経済学部棟305教室で、経済学部学生ディベート大会の決勝戦が開催されました。

今回のテーマは「日本は教育においてAIの利用を進めるべきか、否か」。学生会代表からの挨拶とルールなどの説明の後、決勝戦に勝ち進んだ、宮崎ゼミ①チームと菅ゼミ②チームは、肯定、否定それぞれの立場から白熱した議論を戦わせ、その後、立場を入れ替えての論戦も交わされました。論理性や資料・データの分析力な



優勝 宮崎ゼミ①チーム



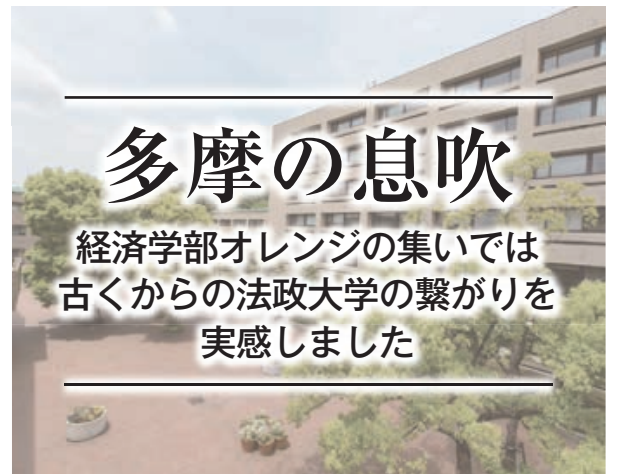
準優勝 菅ゼミ②チーム

どを競う、熱のこもった戦いは、大学から、池上宗信教授、菅幹雄教授、同窓会から、花澤良三幹事長、嶋崇広報部会長の、計4名の審査員による採点の結果、優勝は宮崎ゼミ①チーム、準優勝は菅ゼミ②チームとなりました。

表彰式では、竹口経済学部長から賞状が、花澤同窓会幹事長からは賞金が授与されました。

今回の決勝戦のテーマは、全肯定、全否定がしにくいものなので、どのような理論展開がなされるのだろうかと思

いました。が、両チームとも論点を上手に絞ったうえで、それぞれの主張を行い、大変聞きごたえのあるディベート大会決勝戦でした。



多摩の息吹
経済学部オレンジの集いでは
古くからの法政大学の繋がりを
実感しました

私は、2024年度の経済学部学生会代表を務めさせて頂くことになりました、現代ビジネス学科3年の加藤達也と申します。

6月には、経済学部オレンジの集いやディベート大会が開催されました。オレンジの集いには、学生会のメンバーも数名参加し、多くの方々と交流することができました。昔の経済学部の話や、普段友達同士では話さないような世間話を交わし、大変有意義な時間となりました。古くから続くことで、法政大学の一員であるという実感を抱くことができ、嬉しく思うのと同時に誇りを感じました。また、杉本龍勇教授の講演や同窓会の方々のお話を聞いて、感銘

を受けました。長く続くこの会に参加することができ、大変有難く思います。

私たちが企画・運営したディベート大会では、様々な困難を乗り越え、成功を収めることができました。参加された方々も切磋琢磨しながら、大きく成長できたと感じています。今年も、学生の成長を感じられるディベート大会を無事開催することができ、大変安心しております。今後も、学生のさらなる発展を目指して大会を受け継いでいきたいと思います。教授会副主任の酒井正教授や同窓会の方々には多大なご支援を頂き、大変感謝申し上げます。

これからも、学生会の活動は続きますが、前期を無事終えられたことに達成感を得ております。引き続き一杯頑張っていきますので、暖かく見守って頂けると幸いです。



加藤 達也
現代ビジネス学科3年
酒井 正ゼミ

経済学部/教育・研究体制一覽

2024年7月現在の
経済学部教授陣と専攻分
野を紹介します。
(50音順)

〔経済学科〕

- 阿部 俊 弘教授 統計科学
- 飯野 厚教授 応用言語学、英語教育学
- 伊藤 健彦准教授 社会心理学
- 岡部 雅史教授 環境科学、生物学
- 小黒 一正教授 財政学、公共経済学
- 小沢 和浩教授 情報処理
- ジョン・カレンガ准教授 西洋経済史
- 河村 真教授 産業組織論、応用計量経済学
- 黒田 俊太郎教授 日本文学
- 後藤 浩子教授 イギリス社会思想史
- 小林 克也教授 地方財政論
- 酒井 正教授 労働経済学
- 坂本 憲昭教授 制御理論
- 篠原 隆介教授 公共経済学、ミクロ経済学、ゲーム理論
- 芝田 幸一郎教授 ペルー考古学・人類学・ラテンアメリカ研究

- 菅 富美枝教授 契約法、消費者法、イギリス法、法社会学
- 菅 幹雄教授 経済統計
- 菅原 琢磨教授 社会政策論、医療経済学、医療関連産業の産業組織論
- 杉本 龍勇教授 スポーツ経済学、スポーツ経営学
- ロバート・ストラウド教授 英語教育学、応用言語学
- 石 碩准教授 中国文学
- タナカ・ジェイ准教授 英語教育学、応用言語学
- 田村 理香教授 アメリカ文学
- 張 欣教授 中国文学
- 友松 夕夏教授 経済人類学
- 中谷 安男教授 応用言語学
- 西澤 栄一郎教授 環境政策論
- 西村 健准教授 ゲーム理論、オークション理論、実験経済学
- 新田 誠吾教授 19世紀末から20世紀初頭のドイツ文学
- 橋本 到教授 フランス語、フランス文学
- 濱秋 純哉准教授 公共経済学、応用計量経済学
- 平井 俊行教授 ゲーム理論、ミクロ経済学、公共経済学
- 平瀬 友樹准教授 経済理論形成史
- 廣川 みどり教授 社会的選択論、公共経済学

- 藤田 貢崇教授 物理学
- 萬代 悠准教授 日本経済史
- 宮脇 典彦教授 経営統計学、経営科学、データ解析
- 八木橋 毅司教授 マクロ経済学、国際マクロ経済学、応用計量経済学
- 山崎 友紀教授 資源・環境工学、化学、理科教育
- 山田 快教授 スポーツ心理学、スポーツコーチング学
- リッティングス・ヴィッキー准教授 日本語教育学、英語教育学、日本文学、比較文化
- 池上 宗信教授 開発経済学
- 奥山 利幸教授 理論経済学
- 近藤 章夫教授 経済地理学
- マニーシュ・シャルマ准教授 経済学、コーポレートファイナンス、日本経済
- 進藤 理香子教授 ヨーロッパ経済論
- ジェス・ダイヤモンド教授 ファイナンス、マクロ経済学、労働経済学
- 高橋 秀朋教授 金融、ファイナンス
- 武智 一貴教授 国際経済学
- 田村 晶子教授 国際経済学、マクロ経済学、応用計量経済学

- 富永 靖敬准教授 国際関係論
- 倪 彬准教授 中国経済論、開発経済学、応用計量経済学
- 馬場 敏幸教授 アジア経済、技術移転、技術経営
- ブー・トウン・カイ教授 国際マクロ経済学の理論と実証
- 馬 欣欣教授 中国経済論、労働経済学
- 松野 響教授 比較認知科学、実験心理学
- 王 威助教授 中国経済、労働経済学
- 梅津 亮子教授 管理会計、原価計算
- 岸 牧人教授 監査論
- 胥 鵬教授 コーポレート・ファイナンス、ガバナンス
- 杉浦 未樹教授 世界経済史
- 鈴木 豊教授 契約理論、理論的産業組織論、企業の理論
- 砂田 充教授 産業組織論、企業経済学
- 竹口 圭輔教授 財務会計
- 武田 浩一教授 金融論
- 田中 優希教授 財務会計
- 朴 侏玄教授 地理学(都市地理学)
- 古澤 直人教授 日本中世史

経済学部職員人事

〔専任職員〕

- 松波 淳也教授 環境経済学、理論経済学
- 宮崎 憲治教授 計量経済学、マクロ経済学
- 明城 聡教授 産業組織論、応用統計学
- 湯前 祥二教授 ファイナンス
- ジュリア・ヨング教授 国際関係企業史

《転入》

- 課長 鎌田 太郎 中学高等学校事務室
- 榎原 みどり 学生センター厚生課

《転入》

- 課長 中塚 雅則 人事部付子会社 (エイチ・ユー)より
- 勝 保輝一 総務部総務課より (以上24年6月1日付)





全国の会員から事務局に寄せられたお便りを
紹介します
()は西暦年です

北海道から

川南 卓也(17年卒)
岩見沢市 46歳

大学入試や資格・検定試験など、以前は、試験要項を入手(購入)して、写真屋かスピード写真機で撮影した顔写真と受験料を、指定金融機関へ振込した証明書を添えて、手書きした申込書類・願書を郵便局の窓口へ提出(郵送)していました。

コロナ禍の影響も相まって、近年は、試験要項をインターネット(WEB)で表示・ダウンロードして、必要事項をパソコンやスマートフォンなどで入力した後、近くのコンビニエンスストアのレジ又はクレジットカードの口座

等から受験料を支払い、デジタル撮影した顔写真のデータを添えて、ネットから出願するという方法が、主流になりつつあります。

法政大学通信入学前より、「建築物環境衛生管理技術者(国家試験合格)」の免状を取得していますが、今年、「2級管工事施工管理技士(第二次検定)」を取得することができました。

今後も、資格試験に挑戦したいと思います。

福島から

溝井 進(69年卒)
郡山市 77歳

先日、家内が自宅において転倒。救急車により市内救命救急センターに運ばれました。

しばらく入院し、退院後は自宅静養。それから3ヶ月が経ち、現在はリハビリしながらの通院ですが、妻の会計事務所への職場復帰も間もなくと思われまます。

そうになると、私が通勤の送り迎えに忙しい毎日が始まるのは確実。嬉しい気持ちもありますが、毎日6時起床が始まると思うと、ちよつと頭が痛い思いもします。

埼玉から

川上 良一(92年卒)
越谷市 65歳

ヲタクの聖地秋葉原で588回目の献血をした5月22日、5階の献血ルームを後にして、表の通りに出ようとしたときのことで、ワンピース姿の若い女性が、歩道に横たわっていました。当該ビルの8階から飛び降りたのです。出血は少量でしたが、傘を開いて飛び降りたのか、赤い傘が散らばっていました。

毎年自殺を図る学生が出るという話を、通信教育部のスクーリングで聞いたことがあります。法政大学の現況が気に懸かりました。



そのときの現場の様子

高橋 真弘(24年卒)

さいたま市 23歳

24年3月に卒業いたしました。最近の仕事をしており、忙しい毎日を送っております。趣味はスポーツ観戦で、主にサッカーの試合を見るのが好きです。これから会員として様々な行事に参加していく所存です。

千葉から

角田 勇(64年卒)
流山市 83歳

東京六大学理工硬式野球部大会があつて、六大学野球と同様にリーグ戦を組んでかなりの水準の大会が行われているようですね。孫の友人が法政理工学部ですので、このリーグ戦に出ているようです。いろいろなスポーツや文化面で青春を謳歌してほしいです。もちろん勉強も忘れずにね!

池田 巨(72年卒)

市川市 76歳

経友会小旅行記

4月11、12日満開の桜と清々しく美味しい空気の中、上田、長野の小旅行に参加しました。途中、戦没画学生慰霊美術館「無言館」を見学、若くして戦地に赴き、志半ば

で戦場に散った画学生や、独学で絵を学んでいた若人の遺作を鑑賞。薄暗く愁いを感じる館内の遺作に、青春を生きた情熱と死に行く虚しさを感じ、切ない思いに浸りました。学生時代に何度か訪れた靖國神社の「遊就館」を思い出しました。

午後は、きのこづくしの昼食を堪能し、別所温泉を散策。夕食は、現地から参加していただいた森義男さん、永野幸生さんを交え、楽しいひと時を過ごし、校歌を斉唱し盛り上がりしました。

翌日は善光寺参拝でしたが、小生は、上田のみの参加となりました。残念。

渡邊佐平先生の墓参と吾亦紅

法大OB杉本真人の歌『吾亦紅』マツチを擦れば線香がやけにつきにくい……風が心地良い晴天に恵まれた今年の墓参（5月30日）に12名が参加。線香を手向け、皆思い思いに墓前に語りかけていました。先生に謝りたくて……、お礼を言いたくて……、先生に見ていて欲しい、髪に白髪が混じり始めても、俺死ぬまで先生のゼミ生……とか色々です。

経済学部が本校に戻ってくる5年後には、ほとんどのOB、OGが佐

平さんが逝去された79歳を越え、なによりのお供養になります。来年は佐平さんの43回忌、豊子奥様の13回忌を迎えるにあたり、ポアソナードタワーにてOB・OG会を開催しますので、再会を楽しみにしています。

東京から

竹内 實昭（62年卒）

目黒区 88歳

俳句の会に出るようになって50余年。今も毎月二つの会で、仲間と集い懇談を楽しんでいます。最近の拙句を寄稿いたします。

シーサーや兵士はいらぬ沖縄忌

ガザ憂うローマ教皇復活祭

懐手さて消しゴムか黒鉛か

リュック背に南瓜抱えて夏目坂

麦笛や夢中になりし時ありし

筍や肥後の土付け郷土紙に

秋入日わが影ながく前をゆく

氷雨降る書棚眺めて宗左近

沈丁花坂駆けあがる仔犬かな

八月九日機銃音聞く貨車の中

月天心満蒙の地の土葬波

心地良き追羽根の音朝の路地

星月夜己小さくアルバムに

桜花見ず木の椅子残し杏子逝く

地平線噴き出す如く二重虹

小学生・中学生時代を振り返ると、戦争の記憶のある最後の世代です。焼夷弾の筒、焼け跡の溶けたガラス、空襲、灯火管制、防空壕、知り合いに徴兵され戦死された方がおられたり、上野の地下道に親を亡くした子、浮浪児、闇市、街頭に座す傷痍軍人、満州や朝鮮からの引揚者など身近に、食糧難で薩摩芋の茎や葉など食べた世代です。地球儀で世界を見ると戦火の中に住み暮らしている人々を思いその惨状を憂います。

Facebookでの受発信で新たな糧をいただいています。お薦めです。

胡口 靖夫（69年卒）

渋谷区 82歳

本誌第90号所載の川上良一氏の文章を拝読しました。私は日高ゼミの10回生です。日高先生には学部・院生を通じて警咳に接してきました。けれども恥ずかしながら昨年が先生のおめでたい生誕百年であることは、世事にまぎれて完全に忘れておりました。ご教示いただきましたことに感謝申し上げます。

先生は世間的な栄誉にはまったく無頓着であったと思います。その端的な例は、東大経済学部教授への招聘の話が固辞されたことです。その

理由をコンパの時お聞きしたことがあります。答は実に簡単明瞭でした。「東大へ移ればたしかに世間体は良いだろう。だが60歳定年では再就職の心配をしなければならぬ。これは実に大変なことです。その点、法政にいれば良き師良き同僚に恵まれ、70歳まで浦和の自宅から飯田橋に通えます。こんな愉快なことはありませんよ」とのことでした。ゼミ生が「先生は自ら「博士」と名乗ったこととはないと思います。また他者から言われることも好まなかったと思います。ただ多数のご著書の奥付の略歴で「経済学博士」と記したことはあります。しかし、中村稔編『精神の風通しのために―日高普著作集―』（青土社 2011年）には、奥付に「略歴」すらありません。これは編者が、先生の日頃の言動を熟知していたからに他ならないと思います。

「日高先生は語法に厳格で」

9面へ

というより「日高先生は論理に厳格で」という表現が良いと思います。先生は「論理」という用語を好まれました。管見の限りでは、ご著作で「語法」の用例を見た覚えはありません。さらにあえて細かなことを申し上げれば、先生は著書であれ書評などであれ、刊行年や執筆年に「和暦(元号)」を使われたことはありません。すべて「西暦」です。合理主義者の面目躍如たるものがあります。

私は日高先生から文章を書くにあたってご指導を受けた点が2点あります。第1は、わかりやすい新字体や用語で平易な文章を書くこと。第2は、投稿する前に最低でも1〜2日間じっくり寝かせて冷静に何回も文章を推敲することでした。

向井 鉄蔵(68年卒)

多摩市 78歳

「S43年卒A組」

コロナで中断した時期もあったが、法友会と命名して毎年親睦会を開いてきた。今年は熱海のホテルで開催。その前に明治神宮球場で法早戦を観戦。試合は投手戦となり引き締まった戦いとなったが、最後に2対0で惜敗、応援団とチアリーダーの軽快なリズムにしばし学生気分に入る

ことが出来た。学生の活躍は、いくつになっても励みになるものだ。

夕方、先着隊と合流。急遽2名が不参加となり、6名の参加となった。昭和20年生まれで間もなく傘寿を迎える。ここまで来たら話は健康の事である。以前のようにお酒を飲み交わす量も減ったが、また来年も元気な顔で再会しようと約束して、遠方から参加したメンバーを見送り散会した。

(文責S43年卒Aクラス向井)



親睦会の参加メンバー一同

佐藤 博(玄祥)(55年卒)

中野区 94歳

80年も前の話、当時東京市立一中(後九段中学)で飯田橋駅利用、同時に法政大学に憧れ戦禍急迫、長野市へ疎開(昭和19年)、戦後五反田の星薬学専へ入学、薬剤師となり(昭和26年早生まれ旧制のため20歳で取得)奨学金を得て、法政大3年に編入。今思えばよく頑張ったものと思う。終戦直後、父を病で失い、殆ど自力で各種の資格を得、育英会の奨学金も15年で返済、薬剤師と商学士(法政)を獲得した。その頃は皆苦労(苦学生)したものだ。

高森 正雄(70年卒)

日野市 76歳

平均年齢80歳台の宿泊ゴルフ

始まりは2019年秋の北海道でのゴルフでした。高橋将昭、高橋久之の両先輩を誘い、枝幸や旭川の経友会の先輩や同輩を訪ねてゴルフを楽しみました。

その後、2020年に、群馬県沼田市の温泉ホテルに隣接する初穂カントリーで、毎年春秋に宿泊ゴルフをするようになりました。当初は1泊2プレイでしたが、昨年からは年齢に合わせて初日は観光、2日目は

ゴルフと、身体に優しい日程を組んでいます。

今年は、5月下旬に設定。初日は私が車を出して前泊し、翌日朝に高崎で新幹線組の両先輩と落ち合ってから赤城山に直行。その後、吹割の滝を経由してホテルにチェックイン。温泉と夕食を楽しんで、翌日はゴルフという段取りでした。なじみのキャディーさんが各々の体力に合わせて面倒をみてくれるので、心からゴルフを楽しむことができました。また秋に予定を組むことにしています。



ゴルフ場にて先輩方と一緒に

くれぐれもご自愛を

会報では広告を募集しています。あいさつ
広告と企業広告があります。お申込み
は事務局へ。広告の掲載料金は同窓会
活動に大いに役立っております。幅広い
会員各位のご協力をお願いいたします。

法政大学経済学部同窓会

会長 村田紀敏

昭和41年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

会長代行 加藤毅

〒175-0082 東京都板橋区高島平五―三―一―二
電話 〇三(三九三〇)八六六五

一九六〇年経済学部経済学科卒(上杉ゼミ)

メガソーラーコンサルタント
愛花創業(株)代表取締役
法政大学経済学部同窓会

幹事長 花澤良三
総務部長

〒290-0141 千葉県市原市ちはら台東二―二―一―三
電話 〇四三六(三六)二一六〇

昭和46年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会

事務局長 高森正雄

〒191-0002 東京都日野市新町一―八―一―九

昭和45年経済学部経済学科卒(渡邊佐平ゼミ)

経済学部同窓会副会長
文化シャッター株式会社

代表取締役
会長 潮崎敏彦

昭和45年経済学部卒

株式会社 榎本興産代表取締役
法政大学経済学部同窓会

副会長 榎本勝治

〒180-0014 東京都武蔵野市関前三―四―十一
電話 〇四二二(五二)七二七二

昭和40年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

副会長 菅野里見

〒192-0913 東京都八王子市北野台三―四六―一―一
電話・FAX 〇四二(六三七)二五三五

昭和42年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

副会長 佐々木範光

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡一―一―七
電話 〇四(二九四二)七八〇六

昭和42年経済学部卒

村串仁三郎法政大学名誉教授 著

「高度成長期日本の国立公園」

―自然保護と開発の激闘を中心に―

(時潮社、三五〇〇円)

著者は一九六九年法政大学大学院(博)単位取得
博士(経済学)

経済学部同窓会副会長・HP副副会長

法政大学経済学部同窓会
三和建装株式会社

会長 元角昌三

昭和45年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

財政部長 会田久仁夫

〒336-0017 さいたま市南区南浦和
三―二七―二二―一〇〇六

昭和42年経済学部卒

NPO法人海外留学生安全対策協議会 JCSOS

理事長 池野健一

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二―十二―十五
日本薬学会 長井記念館ビル一階
電話・FAX 〇三(六四一八)〇七二七・〇七二六
E-mail: kiken@jcos.org

一九七二年経済学部卒

法友体育会顧問
法友ハンドボールクラブ名誉会長

川崎保之

〒183-0035 東京都府中市四谷三―六四―二―四
電話 〇九〇(二六四八)六三〇一

昭和38年経済学部経済学科卒

経済学部二部会計学研究会OB会

公認会計士
税理士 桑原正信

〒306-0016 茨城県古河市古河五四四―一四七

昭和43年経済学部商業学科卒



年々厳しさが増す残暑に

有限会社 エヌケー(江戸川南納税貯蓄組合連合会会舎)
NPO法人 日本間質性膀胱炎患者情報交換センター理事長

関 善明

〒134-0085 東京都江戸川区南葛西

電話 〇三(五六九六)三五五三
六十一五―十四―五〇一

昭和38年経済学部卒(山本ゼミ)

高橋建設興業株式会社

取締役会長 高橋 久之

〒212-0004

神奈川県川崎市幸区小向西町四一六五

電話 〇四四(五一)〇五五七

FAX 〇四四(五五五)一二八七

昭和35年経商卒

株式会社 アウイン

代表取締役

田島 栄二郎

横浜市戸塚区戸塚町一二〇番地
電話(〇四五) 八六一―五七四一(代表)

昭和37年経済学部卒

コマニー株式会社

会長 塚本 幹雄

〒168-0065 杉並区浜田山四一―一六―四

セントマークス浜田山一―六

昭和48年経済学部経済学科卒

南宗谷カントリー倶楽部

顧問 深井 信朗

〒098-5204

北海道枝幸郡枝幸町歌登南町三八〇―四

電話 〇一六三(六八)二八三六

昭和36年経済学部商業学科卒

二度栗山興業株式会社

取締役会長 宮内 良雄

昭和26年経済卒

文京法友会

相談役 高橋 将昭

昭和34年経済学部卒

事務局COLUMN

今年も東証見学会を開催

2024年6月26日(水)、昨年引き続き東京証券取引所の見学会を開催しました。今年も、あいにく東証のガイド付きツアーの枠がいっぱいであったことから、私が先導してのフリーの見学となりました。

今回の見学会には、見学後の食事会への参加者を含め、経済学部学生6名と同窓会会員5名の合計11名が参加しました。

東証では、パネルを見ながら株式市場の歴史を追いつつ、先輩から学生に昭和の市場の様子を語るなど、ICT化(情報通信技術)した現在の市場では見られない、当時の様子を再現するような雰囲気に含まれる場面もありました。

後半の証券史料ホールの見学を含め、学生参加者にとっては特に、株式市場について学ぶよい機会になったのではないかと思います。



東証正面玄関にて

見学後は、水天宮の中華料理店で円卓を囲んでの食事を楽しみながら、同窓会のメンバーと学生との会話が2時間近く続きました。今回の東証見学会は、参加した学生全員が学生会員として同窓会に加入するなど、若者と年配者の距離が縮まる結果にもつながりました。

(事務局長 高森 正雄)

【新入会員】

2024年4月

()は西暦卒年

- 池田 遥香 (学生) 「」は紹介者 敬称略
- 安原 宏昌 (24)
- 石森 大暉 (学生)
- 中村 航貴 (学生)
- 小足 彩夏 (学生)
- 大内 陸未 (24)
- 松島 聡希 (学生)
- 岩間 乃々花 (学生)
- 加藤 達也 (学生) [菅野 里見]
- 笹川 芳人 (83) [菅野 里見]
- 上田 晴歩 (学生) [清田 雅人]
- 瀬戸 葵緯 (学生)
- 田邊 悠香 (学生)
- 松田 梨歩 (学生)
- 宮内 洸聡 (学生)

■新入会員からひと言

笹川 芳人

(青森県三沢市)
私の在学当時、経済学部のキャンパスは市ヶ谷でした。地方出身の私にとって、はととも刺激的な環境であり、友人にも恵まれ充実した学生生活を送ることが出来ました。法政での4年間に感謝し、法政大学のさらなる発展を応援しています。

【一般活動支援金寄付】

2024年4月

1口 千円

- 川南 卓也 (17) ()は西暦卒年 敬称略
- 近藤 光夫 (63)
- 江森 利雄 (76)
- 中村 隆輔 (65)
- 菅井 弘明 (65)
- 東 利一郎 (69)
- 小沢 民治 (63)
- 倉川 源治 (61)
- 佐々木 貞夫 (60)
- 田村 暢浩 (68)
- 草間 福治 (66)
- 土師 猛 (66)
- 会田 久仁夫 (67)
- 元角 昌三 (70)
- 太田 莊一 (77)
- 菊池 哲一 (69)
- 大川 成一 (78)
- 菊地 廣一 (70)
- 石山 秀雄 (75)
- 石村 重俊 (80)
- 木村 富一 (71)
- 津金 昭久 (57)
- 船水 博三 (64)
- 白川 昭博 (64)
- 溝井 進博 (70)
- 秀真 賢治 (58)
- 小幡 一治 (64)
- 花澤 良三 (71)

【学生支援金寄付】

2024年5月

1口 千円

- 川南 卓也 (17) ()は西暦卒年 敬称略

【訃報】
謹んでご冥福をお祈りいたします

- 小森谷 三令 (57)
- 中村 隆輔 (65)
- 太田 莊一 (77)
- 徳弘 義彦 (59)
- 菊池 哲一 (69)
- 大川 成一 (78)
- 北川 善徳 (63)
- 関田 明 (63)

2024年5月

()は西暦卒年 敬称略

ご遺族の方から次のご逝去のご連絡がありました。同窓会発展のために、ご尽力ありがとうございました。

- 三木谷 英男 (09)
 - 広江 修治 (59)
 - 杖村 邦夫 (60)
 - 平井 健二 (64)
 - 松本 敏夫 (56)
 - 上原 良照 (63)
 - 名越 紀彦 (64)
 - 家合 健永 (58)
 - 金丸 健一 (63)
- ※家合 永さんは、令和3年に逝去(ご家族より6月にご連絡をいただきました)



事務局からのお知らせ

毎年5月連休明けから6月中旬にかけては、事務局にとって最も忙しい時期になります。定時幹事総会に向けての準備作業がその大半を占めますが、それに関連しての問合せへの応答や常任幹事等への連絡も重なって事務局員の負担も増します。

先日、首都圏在住の60～70歳の会員に、可能であれば少しでも同窓会の運営のお手伝いをというお願い文を出したところ、おひと方からご返事があり、早速、食事をともにしながらお話をしたところ、力を貸してくださることになりました。4ページにもありますとおり、今後の同窓会の担い手が心もとない状況ですので、あらためてお力添えをお願いする次第です。

梅雨も明けて、いよいよ酷暑の夏となりました。この会報が届くころは厳しい残暑になっていると拝察しますが、皆さまどうぞ健康にお気をつけください。

最近の活動

- 5月8日(水) 教授会執行部との定例懇談会
- 5月18日(土) 第6回代表・常任合同幹事会
- 6月1日(土) 2024年定期幹事総会・経済学部オレンジの集い

- 6月22日(土) 学生ディベート大会
- 6月26日(水) 東京証券取引所見学会
- 7月20日(土) 第1回代表・常任合同幹事会

今後の活動

- 8月23日(金) 会報発送作業
 - 9月21日(土) 第2回代表・常任合同幹事会
 - 11月16日(土) 第3回代表・常任合同幹事会
 - 12月7日(土) 忘年の集い
 - 12月20日(金) 会報発送作業予定
 - 1月11日(土) 新年七福神めぐり(2025年)
- (事務局長 高森 正雄)

忘年の集い&霧見先生講演会のお知らせ

忘年の集い(12月7日(土))の午前10時から、市ヶ谷キャンパスにて法政大学名誉教授霧見誠良先生の講演会「デジタル化と金融システム」(ポアソナードタワー 25階B会議室にて。09:30受付10:00開会)が開催されます。この講演会に経友会の会員も参加し、終了後、忘年の集い会場(新橋「新橋亭」)に移動し、合同で宴会を開催する予定です。